

安保3文書――の大歓

憲法と平和踏みにしる

大歓 専守防衛に徹する

敵基地攻撃能力を保有



米国は自分で「守る」
米の全面戦争に巻き込む

日本が「フォワード」に

植村秀樹さん



政治家の意識が「米日連合」で
見えていた

日本が「敵基地攻撃能力の保有」を決めたその背景には、米日連合の実現が隠されている。

「敵基地攻撃能力の保有」は、敵の本拠地を攻撃する能力だ。これまでの米軍の戦争は、主に敵の本拠地を攻撃して敵を倒すことで終り、敵の本拠地は必ずしも自ら攻撃する場所だ。

日本が「敵基地攻撃能力の保有」を決めたその背景には、米日連合の実現が隠されている。

この構造が、日本が「敵基地攻撃能力の保有」を決めたその背景には、米日連合の実現が隠されている。

岸田文雄首相は、「安保政策の大転換」とする敵基地攻撃能力の保有を決めて安保3文書の改定は、ウンともかみかし、説明回避にまぎれています。憲法と平和を踏みにじる岸田政権に怒りの声が高まっています。

流域経済大学教授(安全保障論)

この構造が、日本が「敵基地攻撃能力の保有」を決めたその背景には、米日連合の実現が隠されている。

この構造が、日本が「敵基地攻撃能力の保有」を決めたその背景には、米日連合の実現が隠されている。